



閨

への
イ
チ
ゲ
イ

無力な
姫騎
士が

閨墮
ちスル

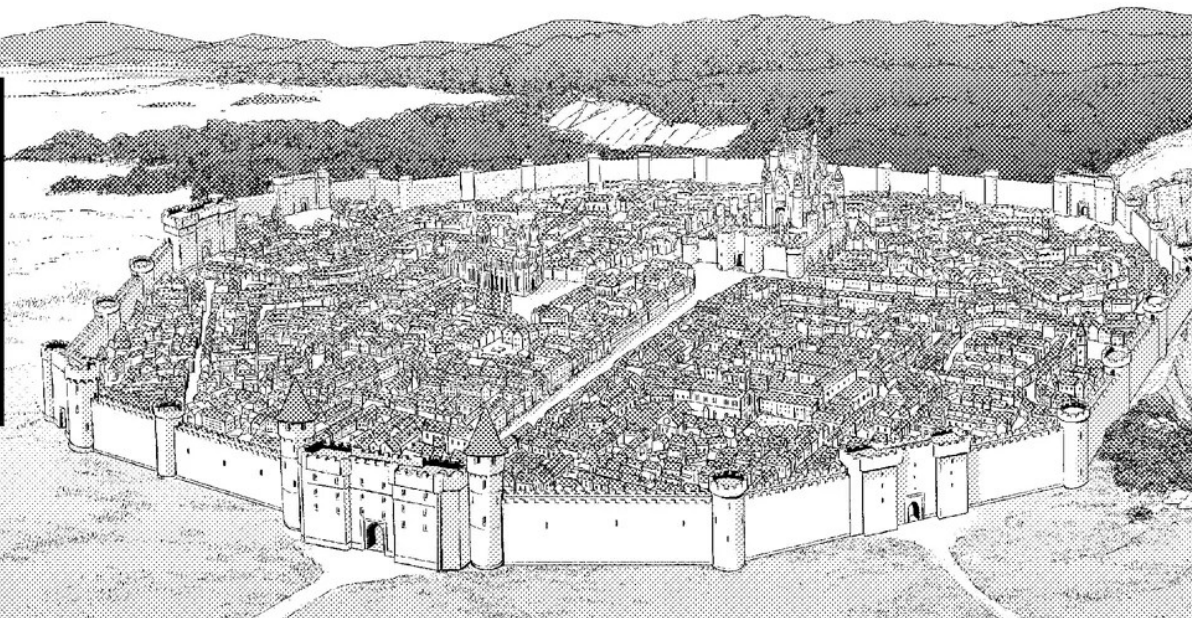
話

presented by
F.T.B

R-18
ADULT ONLY



ルミナ大陸
エルディア王国は



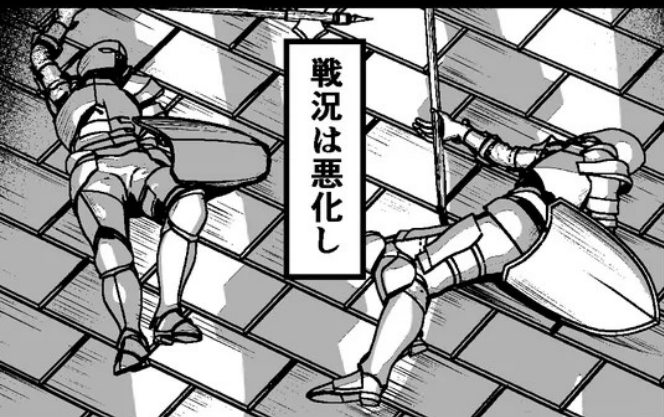
しかし――



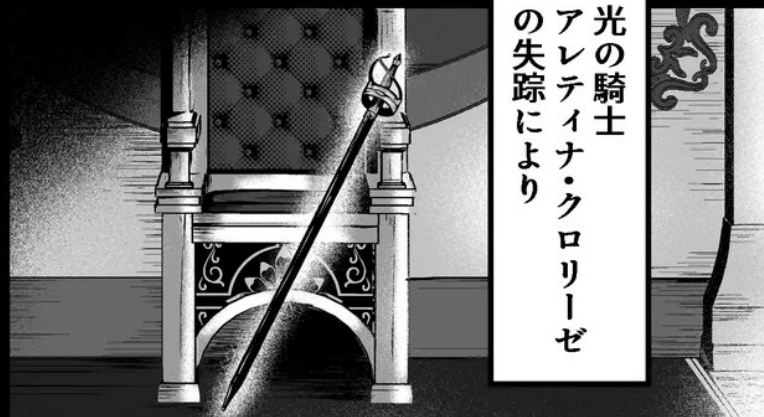
闇の勢力
『ヴォイド』の侵略を
長年食い止めて来た



戦況は悪化し



光の騎士
アレティナ・クロリーゼ
の失踪により

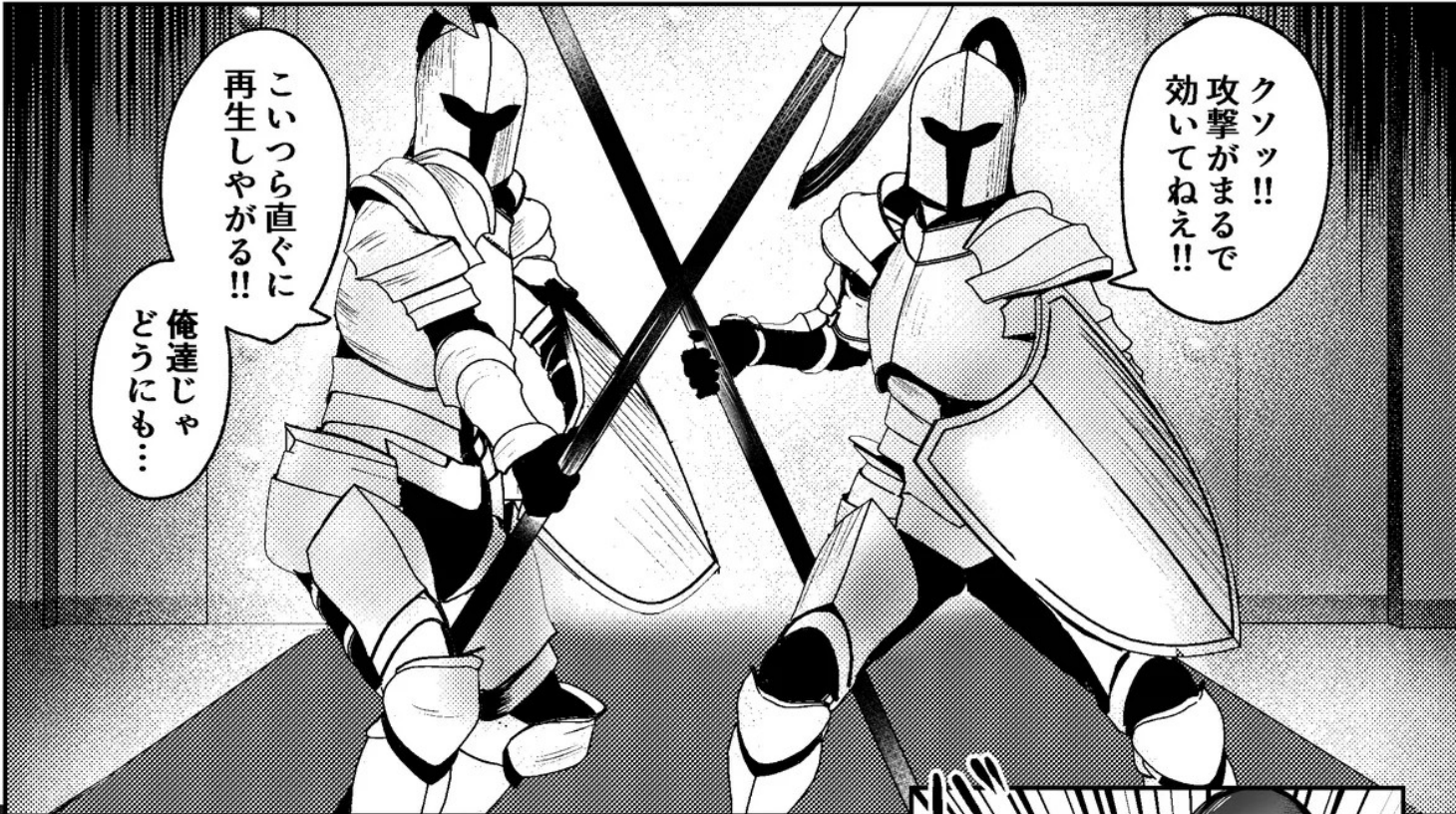


東ルミナ
フォルトリア大聖堂



侵攻は止まらず
各地の拠点
が陥落していった…





フィーナ様!!

エルディア王国次期騎士
フィーナ・クロリーゼ

ここは
私が引き受けます!!

チャキ

魔力の流れを
読み取って

魔力供給を担う
個体ごと仕留めれば…

ここ一帯の
敵を全滅出来るはず…

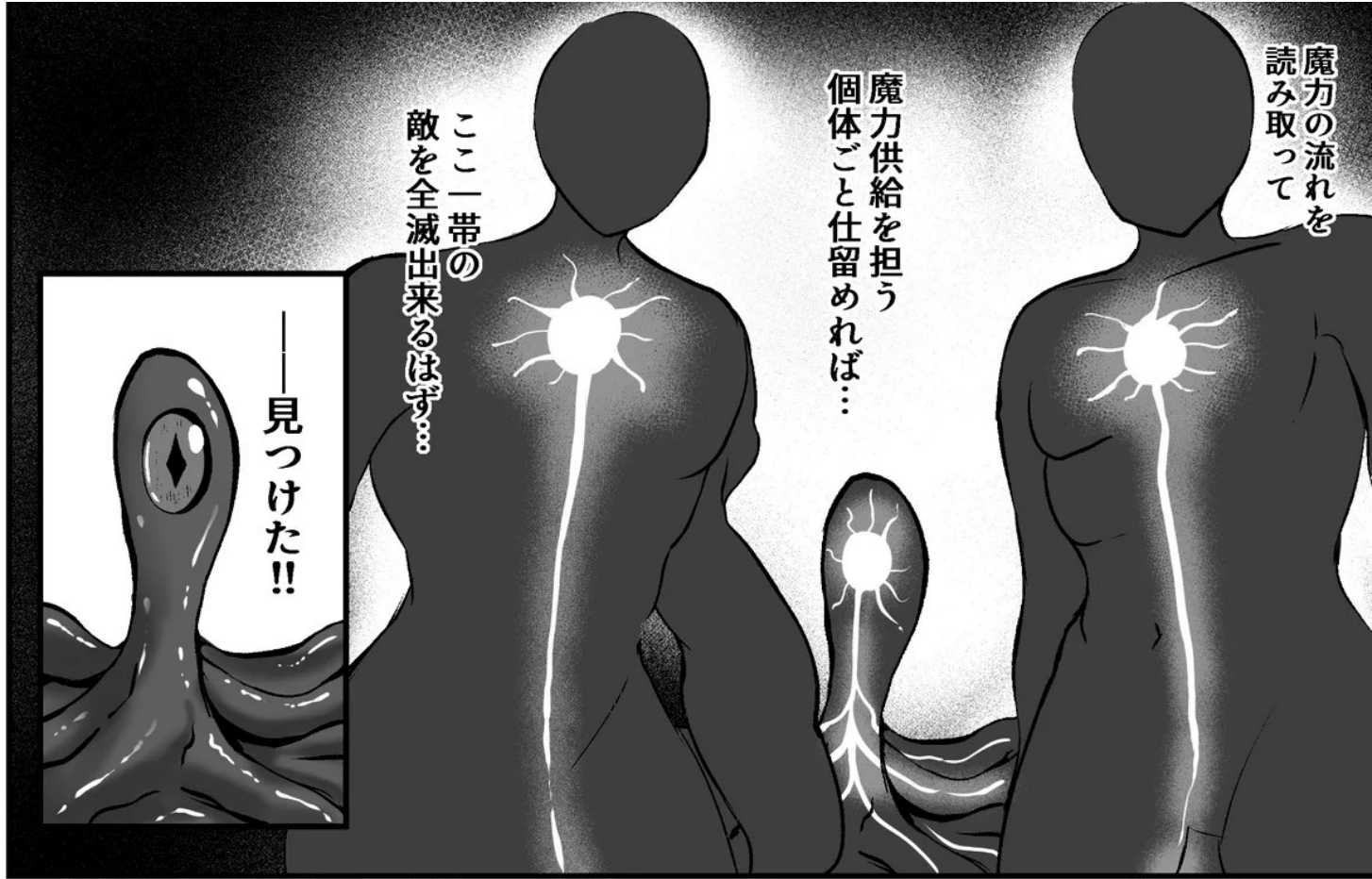
—見つけた!!

残り魔力が
少ない…

詠唱剣術を
使えるのは
一度だけ…

集中しなきゃ…

ルミナス…





補佐官
セラ・ヴァルデイス

相手の弱点を
一瞬で見抜く
なんて…

流石は…

クロリーゼ家の
次期騎士です！



そんな
ことない…

ああ、
ありがと…

あせ

あせ



私なんて—

あ、
お母様…
慌てました…

冷静に敵の弱点を
突き止めた…

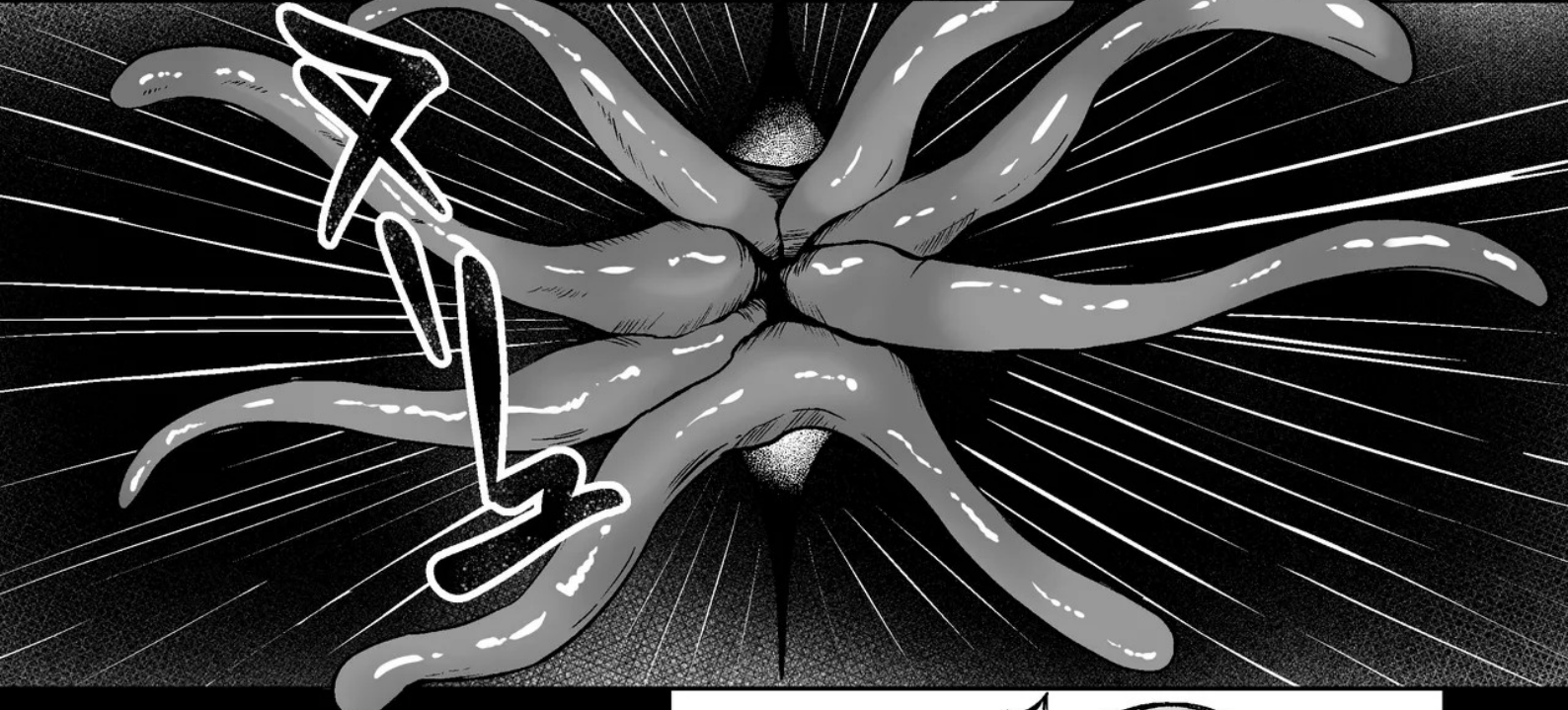
はっ、はい…



お母様から頂いた
ペンダントがないと…

何も…
出来ないのに…









早く
撤退しなさい!!

私の事は
良いから!!



なっ!?

攻撃を弾いた...!?



何も出来なくて...

ごめん...なさい...



そんなこと
出来ません!!

今すぐ救援を...

クロリーゼ家の
騎士なのに...



ここは何処…？

目覚めたか…

んん…



クロリーゼの
若き騎士よ

ヴォイド王
ゼーレ・カタストロフ

我が拠点を
奪還するとは

先代騎士の
娘だけある…



私を捕らえて
どうするつもり…

クク…
教えてやろう…



お前を——
我が騎士^{オンナ}に
することだ…



借り物の
魔力しかない身に

強大な魔力を
宿した時…

むに

むに



興味がある…



どのような
存在になるか…





何を
するつもり...

ぬらぬら
あ...



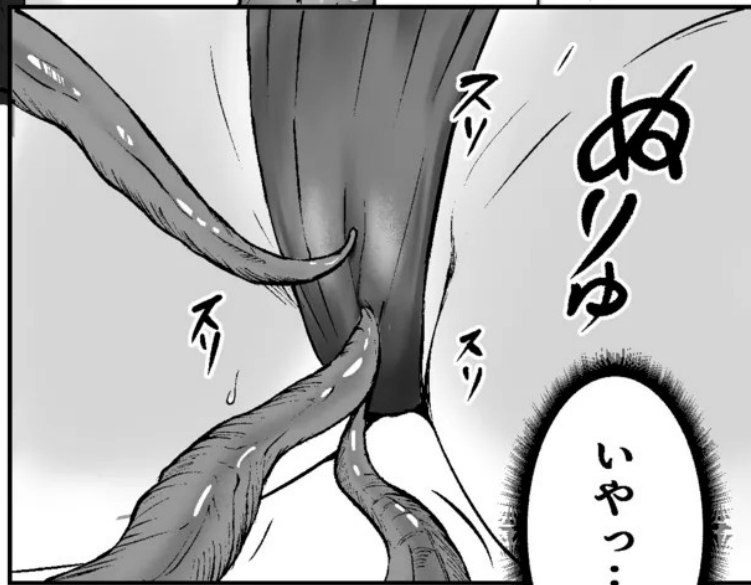
びしょ...

そこは...

ヌチン

ヌチン

だめっ...



ぬるぬる

いやっ...!!



んっ...
んっ...



んっ...
んっ...



グググ

あゝ

ズズズ



プクン

クク…
これは良い…



ズズズ

馴染んで
行くだろう…



ふさしい♡

最初は
拒むだろうが…

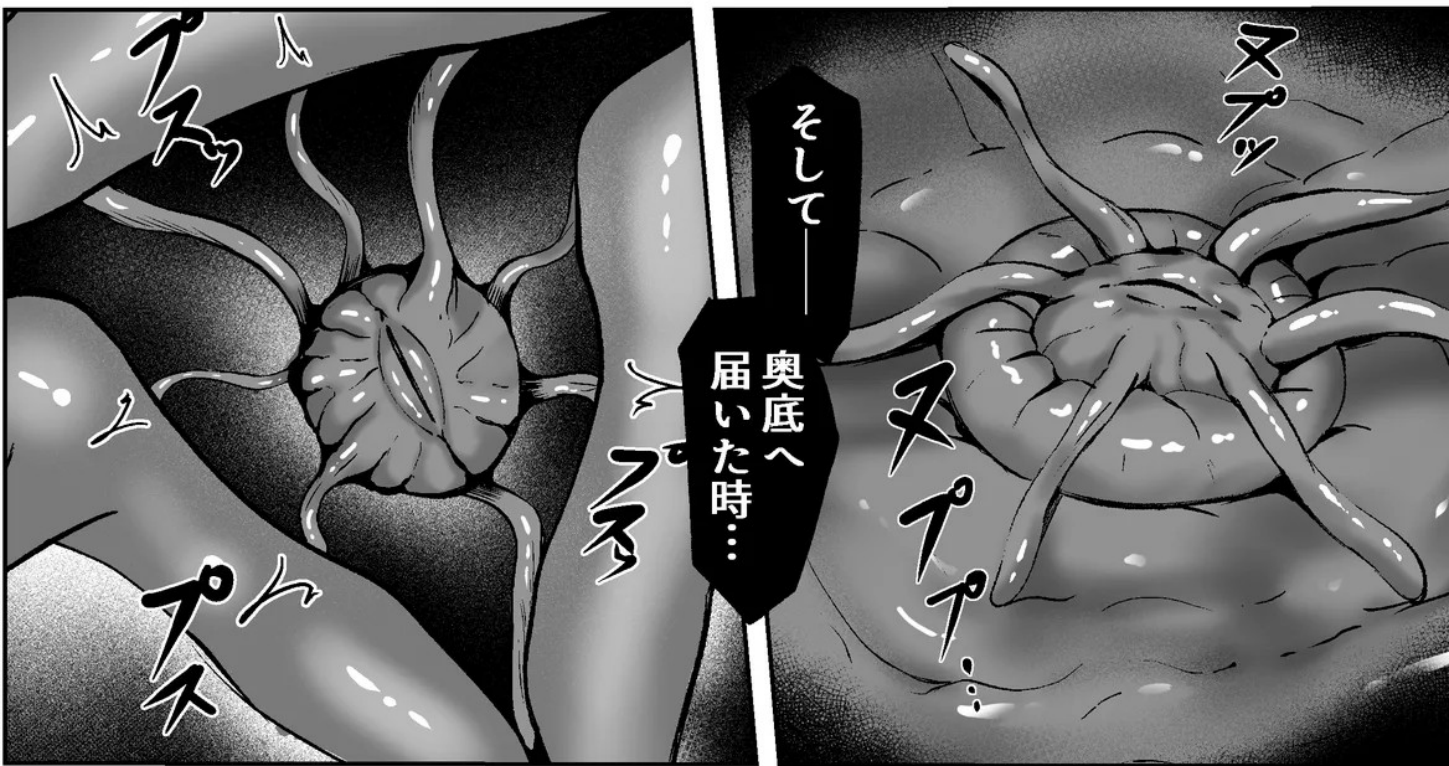


この種を育む

ふさわしい器だ…



この種は
自ら子宮へ
侵入する



そして—
奥底へ
届いた時…



強大な魔力を
巡らせる—

芽を覚まし…



あああ!!

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ズ
ズ
ズ



お腹の中で
魔力が暴れる!!!

ズ
ズ
ズ



く……くるしいっ……!!

ズ
ズ
ズ



私の愛撫を感じ
良く馴染む肉ヒダだ…

これは良い…



…
こ、こんなので
私は屈しない!!

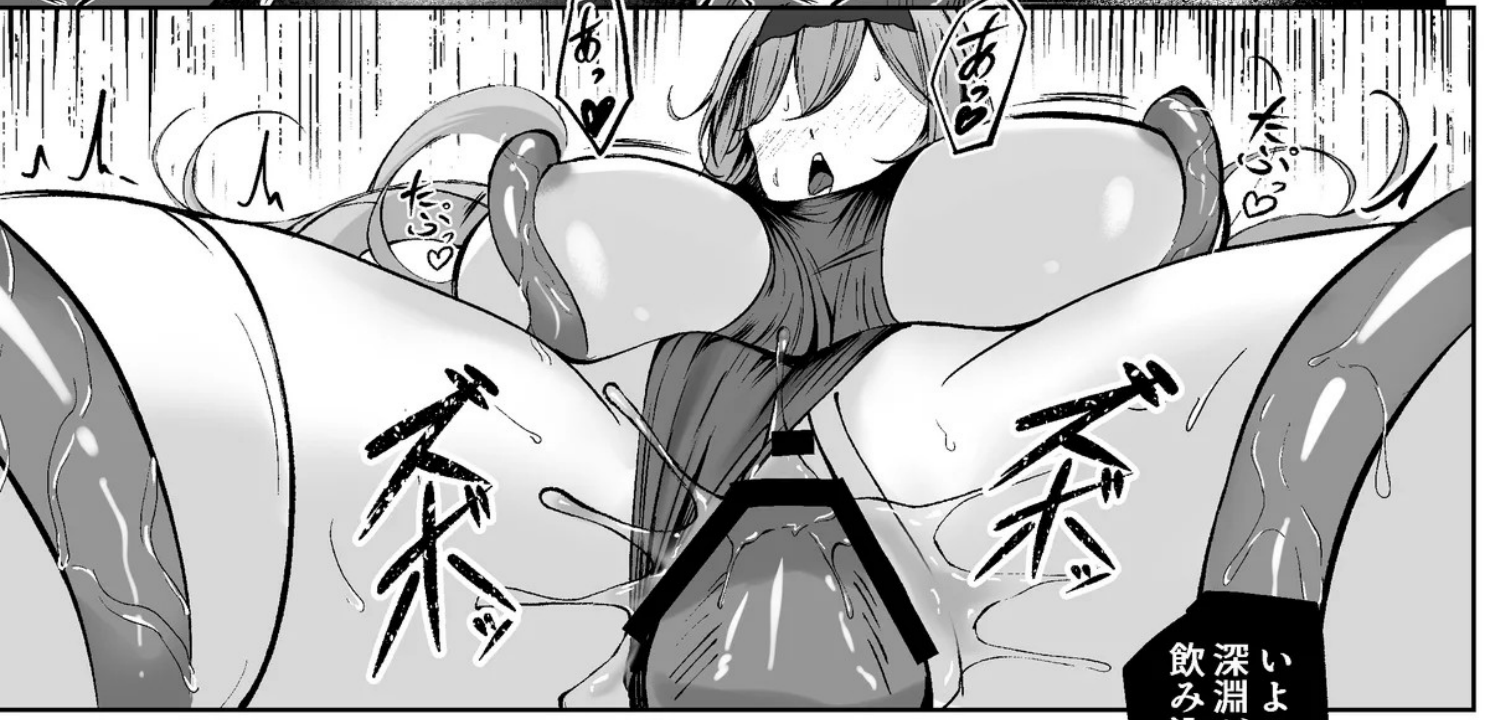
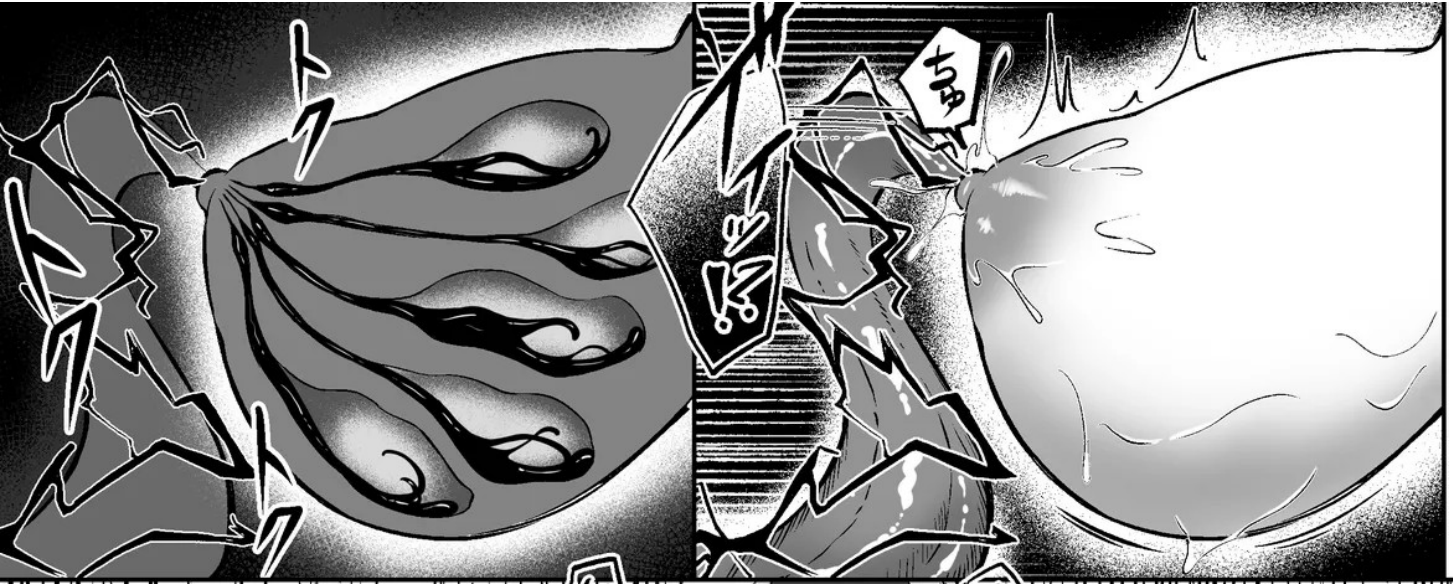
ほう…
ならば—



どうだ?



これは…





我的手駒と
なり果てる…!!



ほう…
これは…





だが――

小物で
魔力を吸収したか



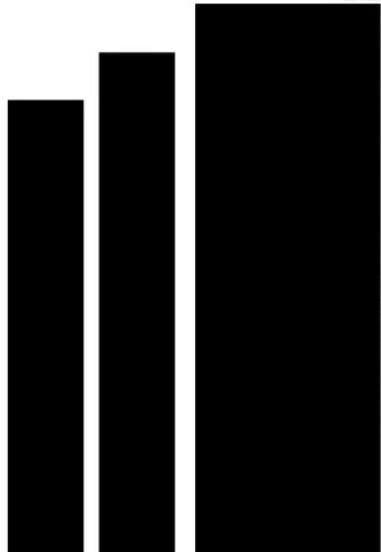
そのカラダは
墮落する
運命なのだ…

種が根を
這っている以上



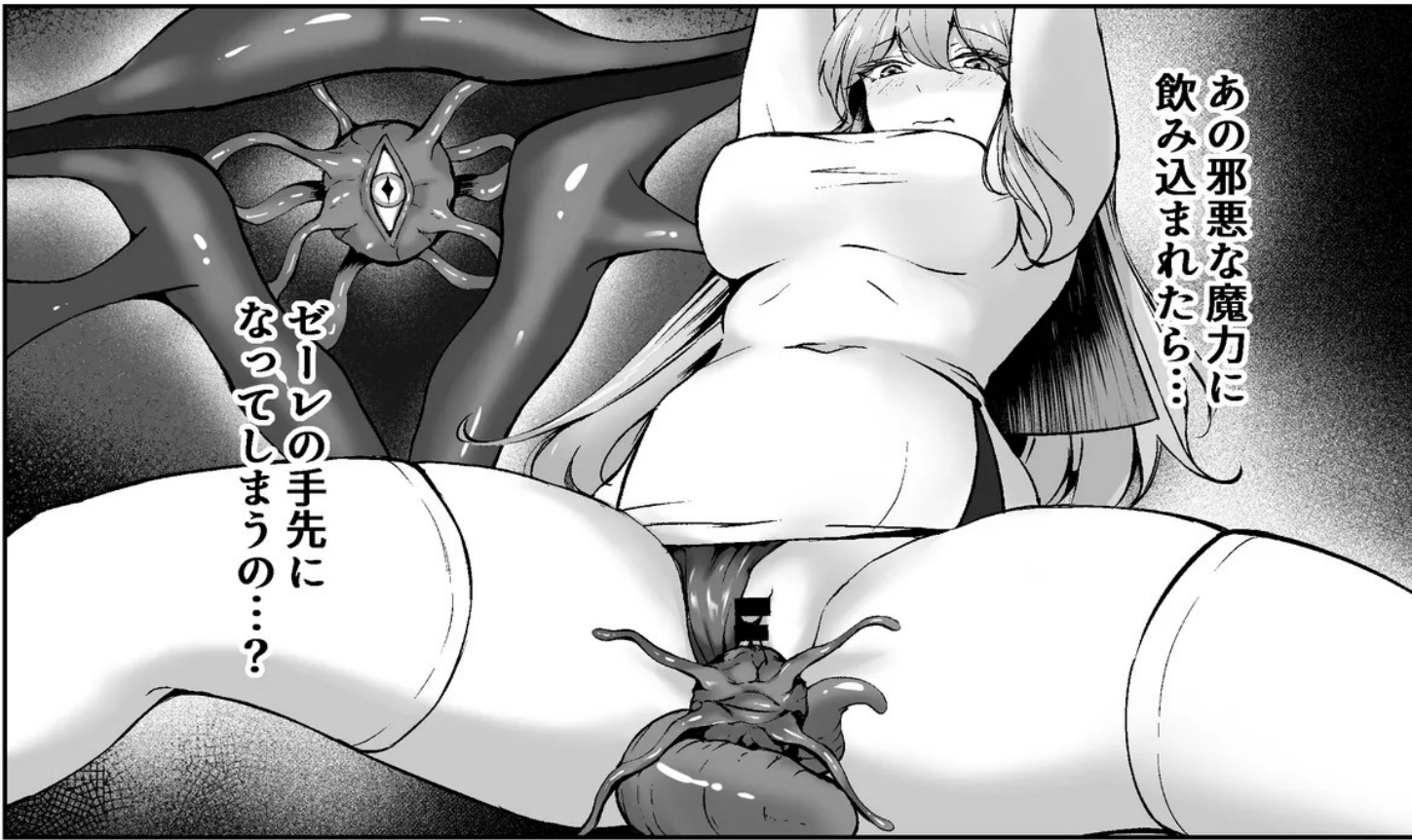
自ら闇へと手を伸ばす
その時まで

可愛がってやろう…





ヴォイドの種……

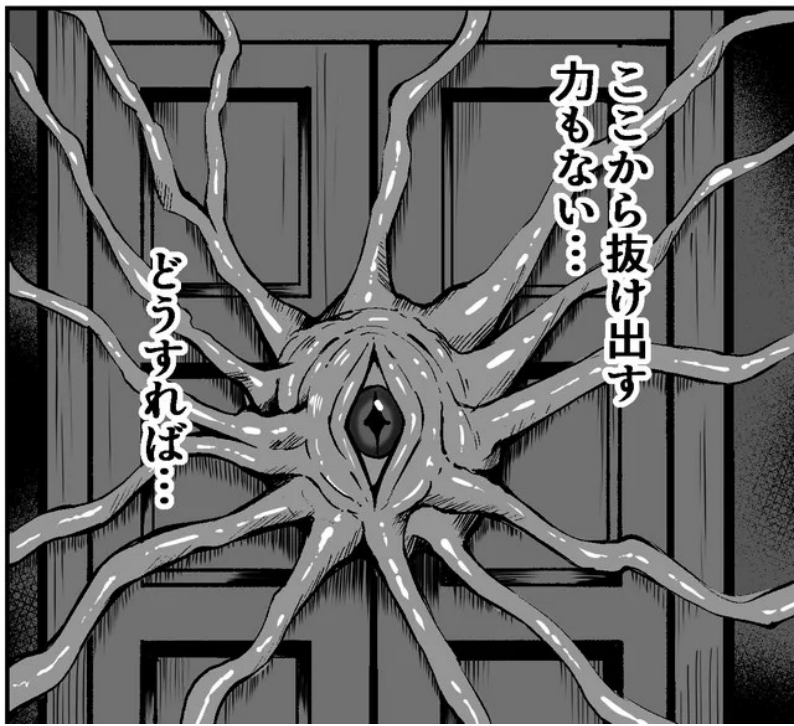


あの邪悪な魔力に
飲み込まれたら……

ゼーレの手先に
なつてしまうの……？

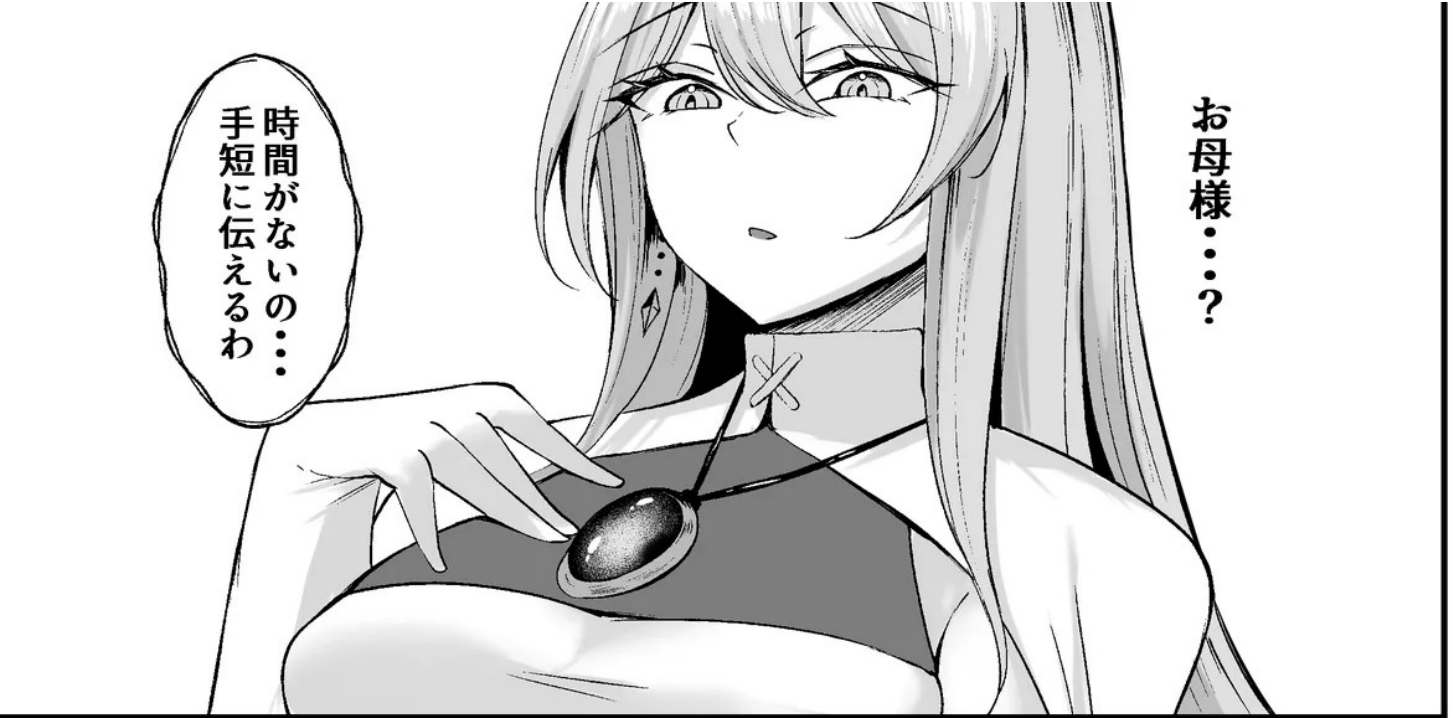


フィーナ……



ここから抜け出す
力もない……

どうすれば……



お母様……？

時間が無いの……
手短かに伝えるわ



あなたは
闇の侵食を
受けても尚

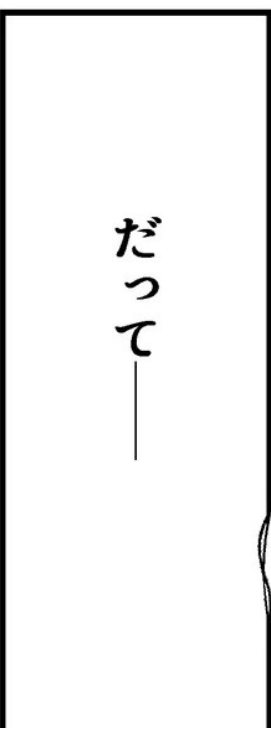
今の姿を
保っている……

あなたの中にある
“種の魔力”を使えば……

ゼーレに
太刀打ちできる
かもしれないわ……



私の娘だもの……



だって——



でも……
そんな事……

あなたなら
出来るわ……



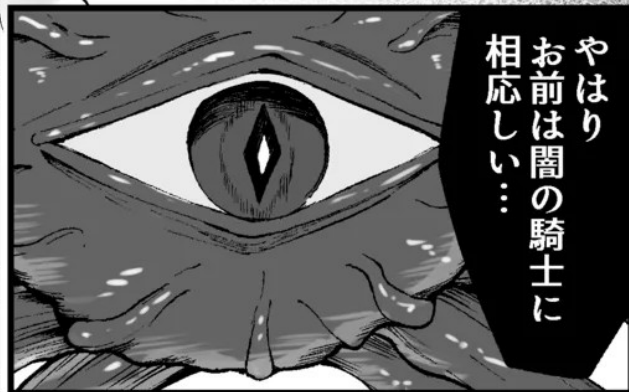
素晴らしい…

植え付けられた
魔力を制御し
此処まで来るとは—



わたしは—

貴方のモノに
ならないっ!!



やはり
お前は闇の騎士に
相応しい…



クロリーゼの
名を以て—

アナタを
討取ります!!

無駄な足掻きだ

え...

アッ...

刻印を刻まれた
身である以上

力が抜けてく...

抗う事は出来ない

カラ...





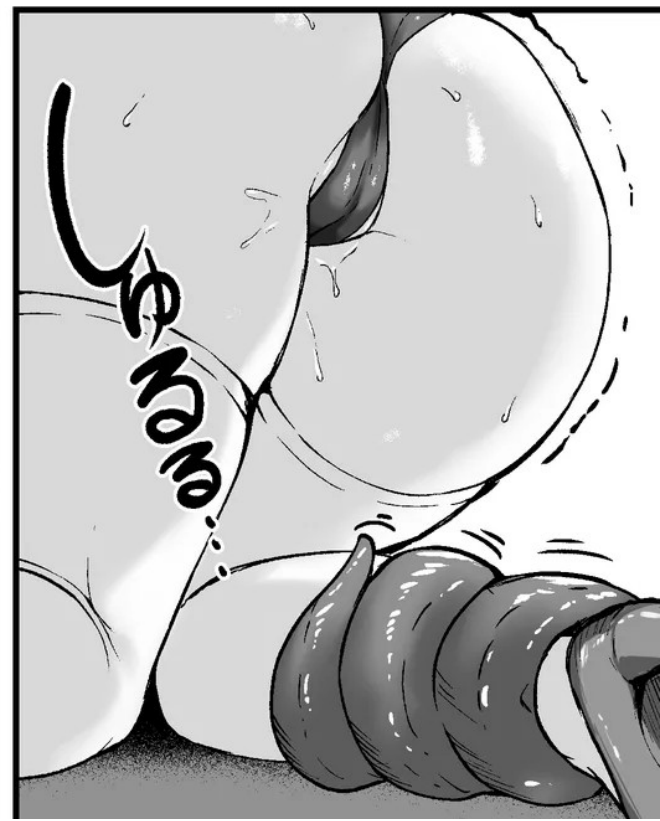
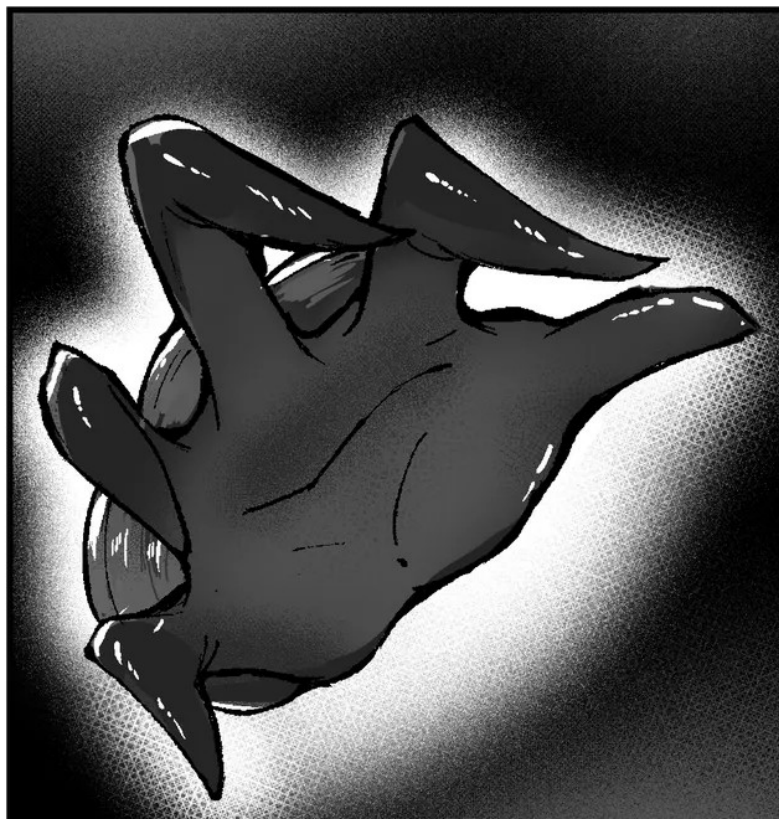
再び体内の種を
活性化させてやろう...

我が眷属から
魔力を流し込み



しゅん

しゅん



えん...



おっ!!

クク…
いい反応だ…

あ
あ

バチ

バチ

あ

あ

あ

あ



また種が
活性化しちゃう…





私のナカを
穢されて...

化け物に
犯されてるのに...

あゝ

んんん

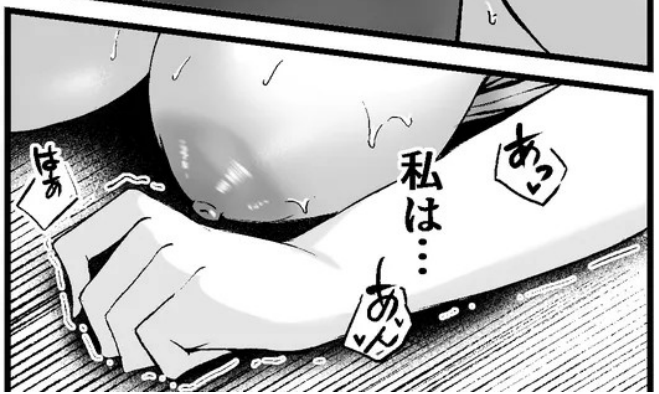


国の皆...
そしてお母様の

期待に応える



何も抵抗
出来ない...



私は...

騎士に――

あぐら

ん、ん、ん

ならないと――



ナイクニ...

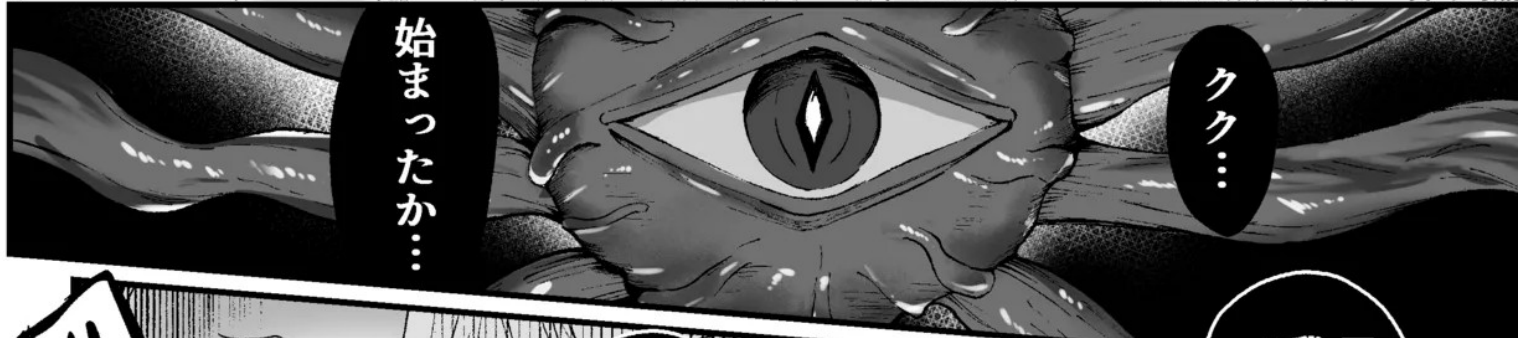
ん、ん



ん、ん、ん

ん、ん

ん、ん、ん



始まったか...

クク...



馴染んでいくぞ...



己のカラダが我が眷属と「同化」し——



どうして此処に…

お、お母様…!?



堕ちて
しまったのね…



母親と
感動の再開

もっと
悦んだらどうだ?



お母様
聞いて下さい…!!

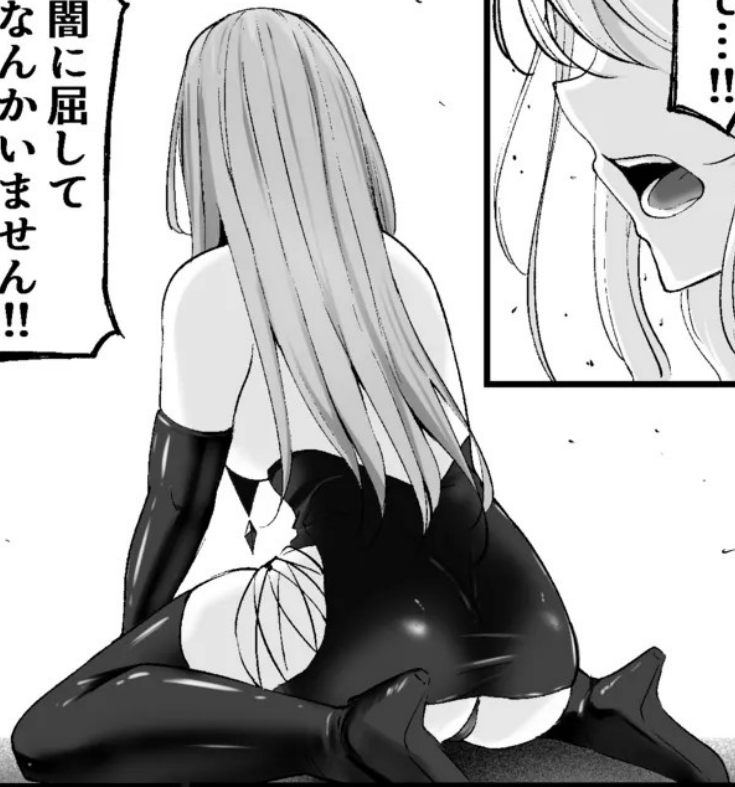
たとえ私の姿が
変わったとしても—



闇に屈して
なんかいません!!



決して...!!



だって
アナタは

あなたは
何も間違
ってない...



フフツ...



え...?



“運命”だもの...

闇に染まる...





やっと
この姿で——

はあ……♡

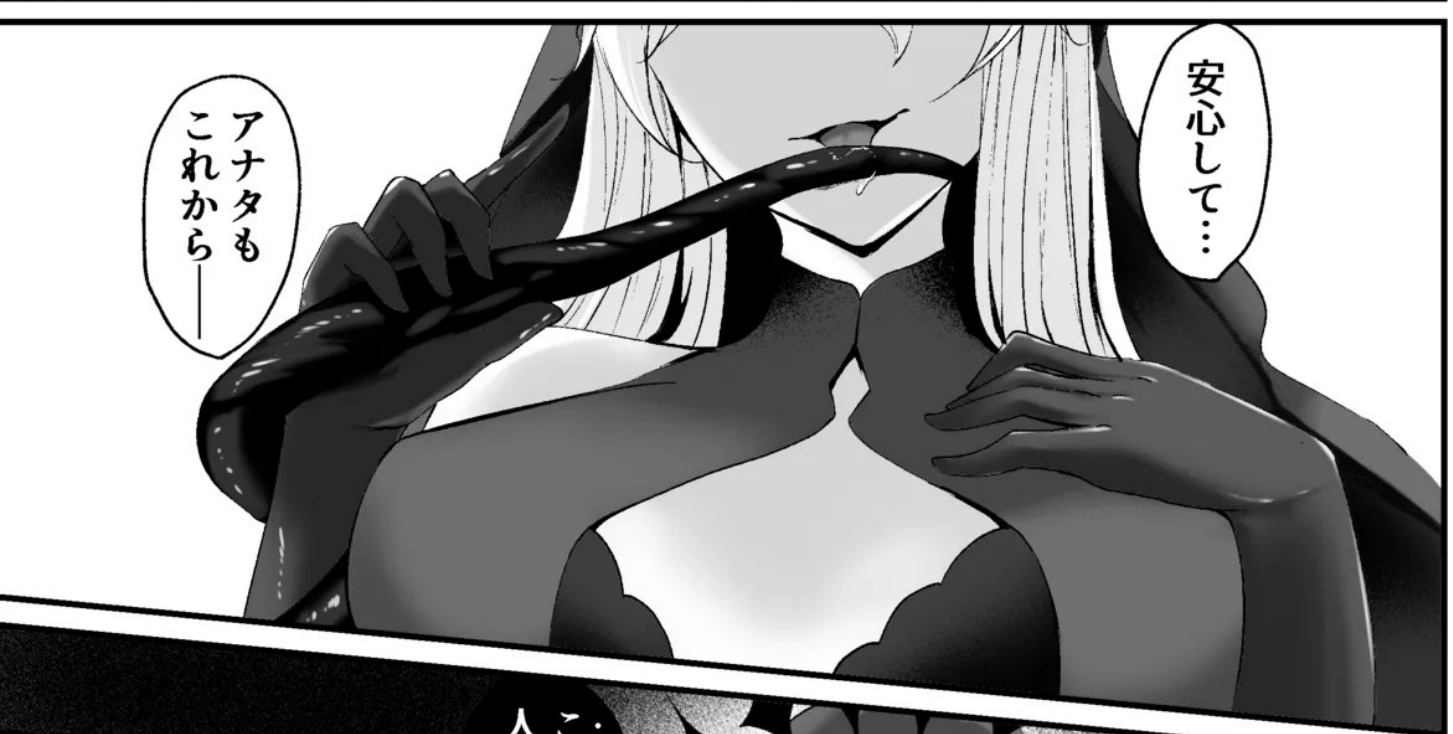


愛せる……♡





マズッ...
戸惑っている
ようね...



安心して...

アナタも
これから...



こちら側の
人間になるの♡





あら…

折角だし
あなたの魔力も
美味しく…

種を抜いた反動で
魔力ごと抜けたのね

頂くわ♥

ハア…

ちゅっ♥

ちゅっ♥

ちゅっ♥

ちゅっ♥

ちゅっ♥





アナタが
熟成させた種...



はぁ♡



ゼーレ?

あなたも
味わってみない?

そうだな
ならば...



真の姿

じっくりと
味わらせてもらう



私も
もど
変身
ると
し
し
よ
う



グロ



はぁ...♡

ちゅっ

実に美味だ

んっ

これほどの
邪悪な魔力を
蓄えるとは...

えっ...

流石は—



我が「娘」だ...

闇の血を受け継ぐ



本当のワタシは…



私が…
ゼーレの娘…

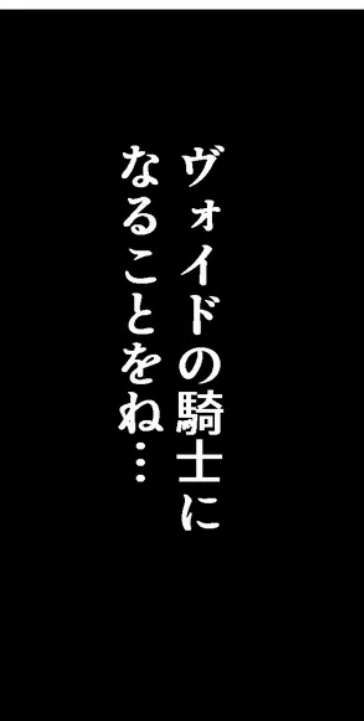
クロリーゼの騎士
じゃなくて…



あなたは
"こちら側"の人間



ふふっ
気付いたようね…



ヴォイドの騎士に
なることをね…



これは運命…
受け入れる
しかないのよ—



あなたの中に眠る
"闇の遺伝子"が

私の魔力に
共鳴してるわ…



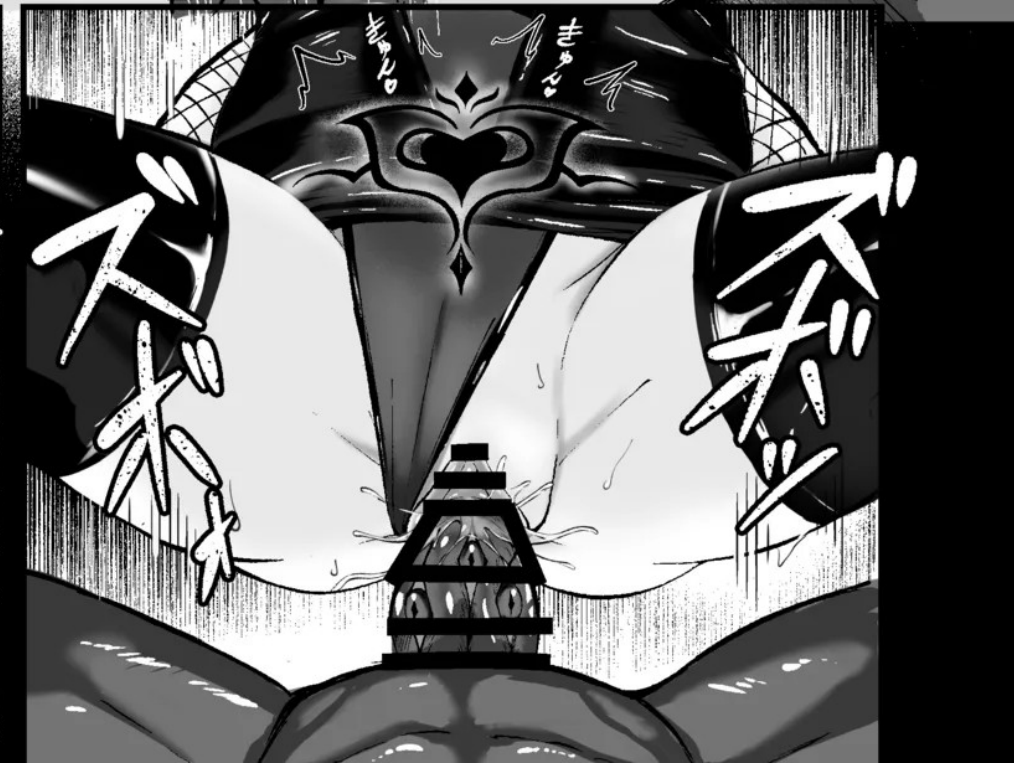
ツオイドの騎士
本当の私に
して下さい…

お父様
ゼーレ様♡

んあ…

クク…
その言葉…

グニッ
待っていたぞ…





ちゅ

突かれる度に...

気持ちイイの
ひろがってく...

ちゅ

はぁ...♡
すい...♡

スッ

スッ



!?

スッ



闇が芽吹いてくる♡

スッ...

トク



私のナカで...

スッ

スッ





アナタが
闇を受け入れて
くれる日を

ずっと
待っていたわ…



これからは
ずっと一緒よ…



ワタシの
可愛い…

フィーナ♥



もっと愛して♥

嬉しい…♥

あんなに



どうでも
よくなるくらい…



クロリーゼの
誇りなんて…



気持ちよく
なっ…



闇を愛して…



堕ちたい…♡

はあ

ジュブ

ジュブ



さあ仕上げだ…

ハハ

あ

ハハ

ハハ

ハハ



お父様の♡
せーきで♡♡

ハハ



我が精を受け—

その身に眠りし
深淵の遺伝子を
覚醒させるのだ—

ズ

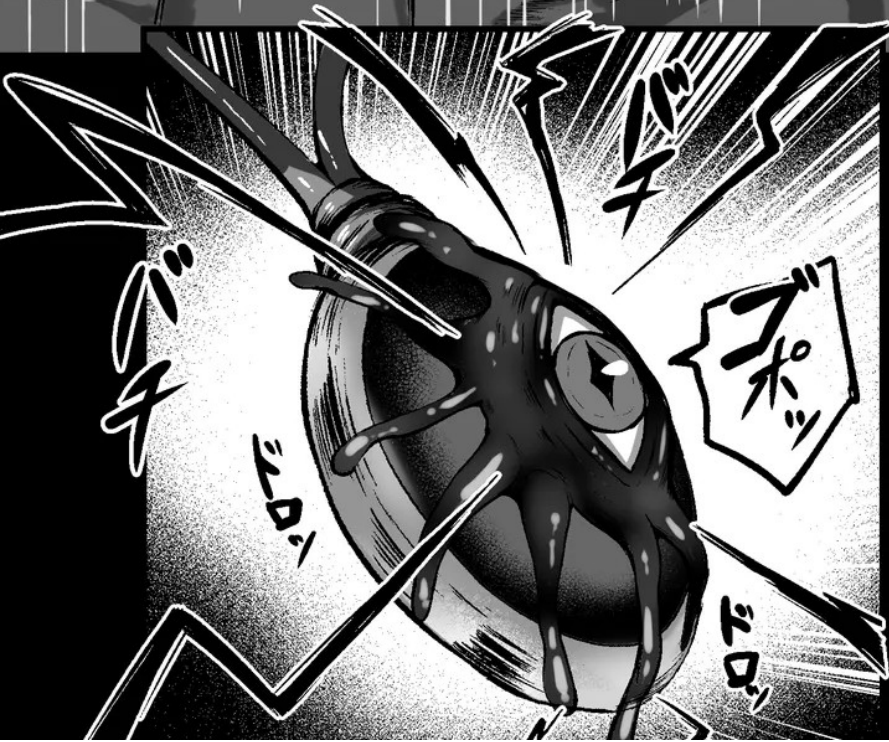
ハハ



ハハ♡♡♡♡

ほんとの♡
フタト…♡

ハハ





魔力が
纏わりついて...

ド
ン
ド
ン
ド
ン

ド
ン
ド
ン
ド
ン



変えてく...♡

ワタシを...



これが…

ふふ…



本当の私…♡

お父様…

この姿…
どうですか…？

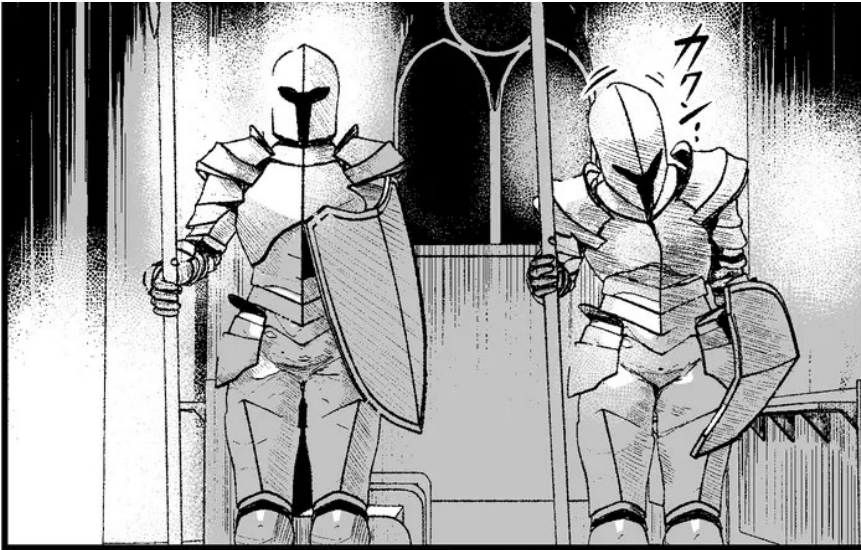
言うまでもない…
良く似合っているぞ
ファイナ…

うふ♥
うれしい♥

とても魅力よ
ファイナ…

あなたの
本当の姿を…

あの子にも
見せたらどう？



今ままで
感じたことのない
邪悪な気配…

一体何者なの…

フム…


フム…



セラも
いたのね…


フム…

あら…




私の帰りを
待ってくれたの？

嬉しいわ…♡



可愛がって
あげる…♡



お礼に沢山

あとがき

この度は本作

「闇へのイザナイ ～無力な姫騎士が闇堕ちスル話～」

をお手に取って頂きありがとうございます。

前作のお話をプロローグ編、今作を本編として制作しました。
『フィーナを見た夢が現実になっていく』というコンセプトを
元に前作から読んで頂いている方、本作から読み始めた方でも
楽しめるように制作しましたが如何だったでしょうか...？

相変わらず言葉で表現する事が得意ではないので
拙い部分はあるかと思いますが、フィーナが堕ちるまでの
お話が伝われば幸いです。

また、作中で登場したアレティナ・セラのお話も
今後機会があれば制作して行こうと思います...

前作から感想、レビュー等沢山頂けて嬉しいです！
とても制作の励みになりました...
ありがとうございます！

無断転載・引用禁止
DO NOT REPOST

X(旧ツイッター)



SNSリンク集





